

**コメント**

**1 インフルエンザ**

定点当たり7.33人の報告がありました。注意報レベル(定点当たり10人)を下回りましたが、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告が8件あり、引き続き注意が必要です。手洗いの励行、咳エチケット、換気など、感染予防対策を徹底しましょう。

迅速診断キット検査結果(市内2か所の協力医療機関による) 第4週 A型:43人、B型:4人

**2 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)**

定点当たり3.17人の報告がありました。基本的な感染予防対策を徹底しましょう。(次ページ参照)

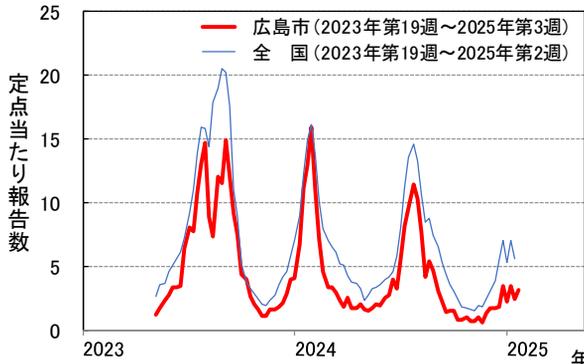
**3 RSウイルス感染症**

定点当たり0.83人と、例年同時期と比べて多くなっています。生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいため、咳等の呼吸器症状がある人との接触を避けるなどの注意が必要です。

**4 感染性胃腸炎**

定点当たり7.83人の報告があり、前週の約1.5倍に増加しました。(次ページ参照)

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行状況



**■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)**

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	増減		前週と比較しておおむね
												急増減	増減	
インフル	インフルエンザ	264	7.33	9.73	↘	小児科	ヘルパンギーナ	-	-	0.14		↑	↘	1:2以上の増減
	新型コロナ(COVID-19)	114	3.17		↘		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.04		↘	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
小児科	RSウイルス感染症	19	0.83	0.09	↑	眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	-		↘	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	咽頭結膜熱	9	0.39	0.71			流行性角結膜炎	5	0.63	0.40		↘	↘	ほとんど増減なし
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	40	1.74	1.34	↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-				
	感染性胃腸炎	180	7.83	7.92	↘		無菌性髄膜炎	-	-	-				
	水痘	8	0.35	0.24			マイコプラズマ肺炎	11	1.83	0.09				
	手足口病	1	0.04	0.21			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-				
	伝染性紅斑	4	0.17	0.09			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03				
突発性発しん	2	0.09	0.20											

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

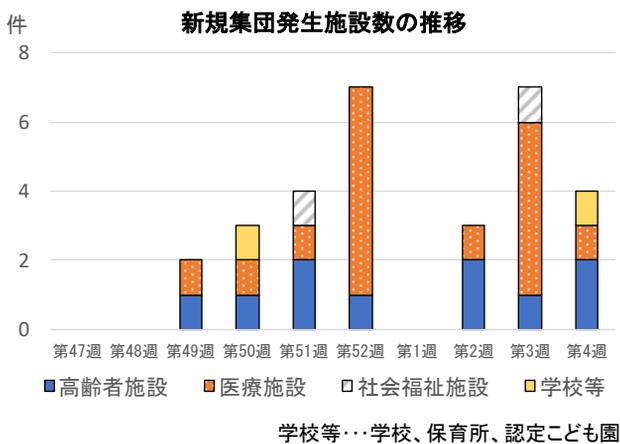
**■ 全数把握感染症報告状況**

類型	疾患名	報告数	累計	備考
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	60歳代・O血清群不明
5	カルバペナム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	2	50歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	5	70歳代・2人
5	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	1	20歳代
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	5	60歳代、90歳代
5	梅毒	3	5	20歳代、30歳代、50歳代
5	百日咳	4	9	10歳未満・1人、10歳代・2人、70歳代・1人

# ■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	インフルエンザ	新型コロナウイルス(COVID-19)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	
																				感染性胃腸炎	水痘
第52週	2,138	125	4	8	32	149	7	1	4	4	-	1	-	5	-	-	34	-	-	-	-
第1週	444	53	1	2	2	6	2	3	1	-	-	-	-	1	-	-	31	-	-	-	-
第2週	1,113	123	5	9	23	136	8	2	4	5	-	-	1	16	-	-	14	-	-	-	-
第3週	512	87	3	2	22	124	1	4	1	4	-	1	8	-	-	-	13	-	-	-	-
第4週	264	114	19	9	40	180	8	1	4	2	-	-	1	5	-	-	11	-	-	-	-
第52週	59.39	3.47	0.17	0.35	1.39	6.48	0.30	0.04	0.17	0.17	-	0.04	-	0.63	-	-	5.67	-	-	-	-
第1週	18.50	2.21	0.07	0.14	0.14	0.43	0.14	0.21	0.07	-	-	-	-	0.33	-	-	5.17	-	-	-	-
第2週	30.92	3.42	0.22	0.39	1.00	5.91	0.35	0.09	0.17	0.22	-	-	0.13	2.00	-	-	2.33	-	-	-	-
第3週	14.22	2.42	0.13	0.09	0.96	5.39	0.04	0.17	0.04	0.17	-	0.04	-	1.00	-	-	2.17	-	-	-	-
第4週	7.33	3.17	0.83	0.39	1.74	7.83	0.35	0.04	0.17	0.09	-	0.04	0.13	0.63	-	-	1.83	-	-	-	-
第2週	35.06	7.08	0.34	0.32	1.73	4.14	0.35	0.17	0.94	0.20	0.01	0.03	0.07	1.12	0.02	0.03	1.11	-	-	0.01	0.01
第3週	18.38	5.62	0.41	0.23	1.84	4.52	0.18	0.11	0.95	0.18	0.01	0.03	0.05	0.61	0.03	0.02	0.85	0.01	0.02	0.01	0.02

## 【参考】広島市における新型コロナウイルス感染症の集団発生事例について



医療施設や高齢者施設における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の集団発生の報告が続いています。

医療機関受診時や高齢者施設を訪問する際は、感染予防としてマスクの着用が効果的です。また、体調がすぐれないときは、お見舞いや高齢者施設の訪問は控えましょう。

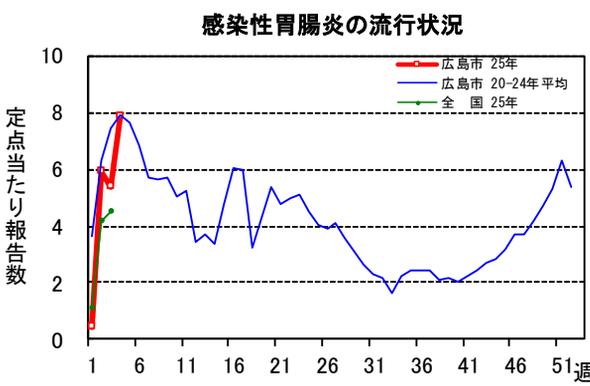
【本市が公表する集団発生の定義】  
 ○学校…休業措置が行われた場合  
 ○上記以外…一週間以内に概ね10名以上の発生を確認した場合

【参考】  
 広島市における新型コロナウイルス感染症の新規集団発生事例(広島市)  
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/341008.html>



## 【参考】感染性胃腸炎の予防について

冬季はノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が増加します。感染性胃腸炎を起こすウイルスは、感染者の便や吐物に多く含まれており、飛沫や人の手などを介して経口感染します。保育園、学校、福祉施設など集団生活の場では、感染が広がりやすく、特に注意が必要です。



- 【予防のポイント】
- ◆手洗いの励行
  - ◆便・吐物の適切な処理 ※
  - ◆食品の十分な加熱
  - ◆調理器具などの消毒 ※
- ※一般の消毒用アルコールはあまり効果がありません。  
 次亜塩素酸ナトリウムを含む消毒液(家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤を薄めて代用可)や熱湯による消毒が有効です。

【参考】  
 感染性胃腸炎(特にノロウイルス)について(厚生労働省)  
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/norovirus/>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。  
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>

【問い合わせ先】  
 広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号  
 TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

